

第1学年 体育科学習指導案

1. 単元名『 リズムダンスいろいろ 』（表現リズム遊び）

2. 単元の目標

- 軽快なリズムの音楽に乗って弾んで踊ったり、友達と合わせて踊ったりすることができる。
(知識・技能)
- 楽しく踊るための動き方を選んだり、友達のよい動きを見つけたりすることができる。
(思考力・判断力・表現力)
- 運動に進んで取り組み、友達と仲良く踊ったり、ぶつからないなどの場の安全に気を付けたりすることができる。
(学びに向かう力・人間性等)

3. 児童の実態

休み時間にお気に入りの遊びで遊べるようになってきた。固定遊具での遊びを通し、校内の施設や運動場の決まり事を学んできた。また、思いっきり走りまわれる「広い範囲でのおにごっこ」では、おにの人数を増やしたり、逃げる範囲を限定したりして少しずつルールを変えながら「こおりおに」、こおったらバナナになる「バナナおに」、複数人数で手をつないだままの「手つなぎおに」、長座の姿勢からの「ねことねずみ」に取り組んできた。

準備運動では、軽いジャンプ、両手と開脚のジャンプ、かけっこ動作のジャンプの3種類をその場、右移動、左移動とともに行う運動に取り組ませてきた。また、国語科の音読においては、音読集「ひばり」（光文書院）をもちいた。七五調の詩に手拍子を付けて音読すると、喜んで大きな音読になる。みんなで声を合わせて活動する楽しさを味わうことにもつなげることができた。

4. 単元について

①教科から見た特性

音楽の種類のごとく、ダンスの動き方も様々にある。軽快で乗りやすい音楽での活動から始め、様々なリズムに乗って全身を動かす心地よさや、友達のよさを取り入れて自身の動きを再構築していくことが本単元における運動の面白さであると捉える。

ねらう「よい動き」として、「おへそがたくさん動く」を挙げたいが、子どもからすれば照れがあったり、動かし方を分かっていたいなかったりして「手先だけで動かすこと」があるであろう。自分なりに考えた動きを「よい動き」として認めつつも、全身を使ったより大きな動きに近づけさせていきたい。この捉え方のズレを少しでも減らし、重ねていく授業展開をしていきたい。その実現のために以下の3点を重点とする。

運動の面白さ「リズムに乗って自分なりに動くこと」を探究する。

～ よい動きの捉えのズレを近づけていく ～

● 活動の進行に伴い減少させていく活動人数 35→8(9)→2(3)

照れが出ないように大人数から始め、徐々に人数を減らすことで、相対する対象を明確にしていく。学級全体での活動では、

● 多様な音楽の選択 慣れ親しんだロック、5拍子、動きやすさ

運動会に使用したよく知っている音楽から、挑戦的な音楽まで幅広く扱うことで、様々なリズムでも即興的に思った通りに体を動かせる経験を増やしていく。

● ICT機器の有効活用 動画記録 → 振り返り、次への見通しへの活用

学習カードへの記述や振り返りの発言だけでは十分に思いを伝えられないこともあると考えられる。そこで、動画の提示を行うことで、教師が気になり広めたいと思った動きを視覚的に分かりやすいようにする。記録のためのより効果的な撮影方法を機材とともに模索していく。

5. 単元計画と資質能力を育成する主な手立て（全5時間 本時4/5時）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 1時間	いろいろなリズムの音楽に乗って体を動かそう。	○他者に対する受容共感 敬意 ○協力しあう心	○安全に活動できるよう「できるだけ広く、大きな動きで」場を使う。
第2次 4時間	音楽のリズムに乗りながら自分なりに動きを工夫しよう。	○感性表現創造の力 ○協働する力 ○伝える力 ○向上心	○振り返りからの学びの視点の もたせ方 ○多様な人数の学習集団の設定

(1) ねらい

- ## (2) 展開

学 習 活 動・予想される児童の反応 ○前時までの学習を振り返り、本時の活動の見通しをもつ。 「前回の〇〇さんの動きが大きくてよかったね」 「今日は、もっと足を使って動くようにしよう」	◇資質能力を育成する主な手立て ◆評価 ◇日記による記述、前時の動画から学習活動を振り返る。（受容共感敬意）
自分なりに動きを工夫して リズムに乗って踊ろう。	
○音楽に乗って体を動かす。 ①リズムジャンプ みんなで声を合わせて跳ぶ。 ①リズムの明確な曲 …… 3 5 人バラバラで 「GOOD TIME」 OWLCITY 途中で音楽が止まったらポーズ。友達にさわらないポーズ。 ②5 拍子の曲 …… 8～9 人 「STICK DANCE」 MUSICTOGETHERより 円をつくって座り、リーダーを交代しながらまねをし合って踊る。 「1 2 3 4 5」の声を基本に声も工夫して出す。 ③速い曲 … 3 5 人バラバラ 友達とかかわり合ってもよい。 「ガールフレンド」 アプリルラヴィーン ④少しゆっくりの曲… … いろいろなペアまたは トリオ 2～3 人 「わ`ラディ`イブラガ`」 ザビートルズ ペアは途中で交代 鏡の動き リーダーのまねをする。リーダーも適宜交代 ⑤速い曲 … 3 5 人バラバラ 「ヘイ！1 ミッキー」 チアーズサントラより ○学習のふり返しをする。 ・自分の気付き ・友達のよかったところ （日記の記述は、家庭学習とする） ⑥スキップで退場曲 「丘を越えて」 藤山一郎 体育館出口に整列するまで。	・ドラムの音が明確でリズムに乗って動きやすい速い曲や工夫を加えるのに考えやすいゆっくり目の曲、多様なリズムの音楽を用意する。 ◇止まった動きの多様なポーズを賞賛する。 ◇音楽による違いを感じながら、変化のある動きをしている児童を取り上げる。 （感性表現創造の力） ・リズムに合っていないグループには1 2 3 4 5 をカウントしながら入り修正していく。 ・ペア同士の場の広さに気を付け、ぶつからない場所に移動することを促す。 ◆多様な音楽の違いを感じながら動きの違いを表現している。（行動観察） ☆自身の動きの変容を発言させる。 （伝える力・向上心） ☆友達のよさに気付いた児童を称賛する。 （協働する力） ◆自身について振り返り、次時へつなげようとしている。（発言、振り返りの記述）